

令和3年度リハビリテーション採用者求人票

求人者	事業所	社会福祉法人あそか会 あそか病院	募集職種	理学療法士3名・作業療法士3名	
		理事長 古城 資久	教育・指導	<ul style="list-style-type: none"> ・新人教育（マンツーマンによる個別指導）先輩が業務内容から訓練内容まで相談・指導。 ・チーム体制、職種別に数人でチームを組み、患者様への訓練内容などのフォローや問題点の解決、治療方針の修正など。 ・病棟スタッフと共に知識、技術向上のため勉強会を実施。 ・リハビリテーション科内勉強会 ・学会発表・学術発表会 ・院外での勉強会、研修会の参加 	
		院長 松川 正明			
	所在地	〒135-0002 東京都江東区住吉1-18-1 JR総武線錦糸町駅下車徒歩9分 都営新宿線・東京メトロ半蔵門線 住吉駅下車徒歩5分			
資本金	4億4千万円	勤務時間	就業時間	8:30~17:30	
創立	昭和5年11月5日		休憩時間	60分	
総職員数	800名	休日	残業	有	
病院職員数	360名		休日	4週8公休	
リハビリ職員数	PT36名・OT9名・ST5名	有給休暇	有給休暇	入職年10日（法定通り） 夏期休暇・年末年始休暇	
事業内容	医療事業・総合病院		基本給	255,050（3年専門卒） 260,950（4年専門卒） 263,950（大卒） 超過手当別途支給 ※年末年始手当あり。	
病床数	254床（回復期87床）	給与・待遇	定期昇給	年1回	
診療科目	内科・消化器内科・呼吸器内科・循環器内科・神経内科・眼科・アレルギー科・外科・整形外科・脳神経外科・肛門科・皮膚科・婦人科・耳鼻咽喉科・泌尿器科・歯科・放射線科・リハビリテーション科		賞与	前年実績 年4.49ヶ月（4月・11月） （年2回支給 業績連動）	
業務内容	関東大震災の罹災者救済の為、築地本願寺の救護所設立を機縁とし、西本願寺縁の九條武子夫人の私財を基に創立。開設以来地域医療・地域福祉の向上に尽力しております。	その他	支給日	末日	
	あそか・・・それは、人々の「無憂」を願う心 「多くの人々に、病などの憂いを無くしてあげたい・・・この願いがあそかという法人名に込められているのです」 平等な医療・福祉・保健を皆様に提供します		締切	末日	
同法人施設	特別養護老人ホーム あそか園・江東ホーム・北砂ホーム・塩浜ホーム 高齢者在宅サービスセンター 東陽・亀戸・大島・古石場・白河 西大島在宅介護支援センター あそか訪問看護ステーション、六華園訪問看護ステーション 住宅型有料老人ホーム 六華園	応募・選考	選考場所	当院にて実施	
	東京曳舟病院・旭ヶ丘病院 赤穂中央病院・大阪陽子線クリニック 大阪暁明館病院		選考方法	書類選考・面接・小論文	
特長	<ul style="list-style-type: none"> ・理学療法・作業療法・言語聴覚 3部門あり。 ・急性期・回復期・地域包括・療養・外来リハビリ介入。 ・脳血管疾患、整形疾患、内科系疾患、呼吸器疾患等様々な疾患に対応。 ・ADL/IADL練習も積極的に実施 ・家屋評価や住宅改修、福祉用具選定にも積極的に積極的に介入 ・他職種とも勉強会を実施。 	応募書類	履歴書・成績証明書・卒業見込証明書		
			説明会・見学会	第1次締切 令和2年9月30日 ご希望、お問い合わせは下記へご連絡下さい	
			社会福祉法人あそか会あそか病院 総務課 人事係 TEL03-3632-0290 FAX03-3632-0382 e-mail:soumuka1@asokakai.or.jp URL http://hp.asokakai.or.jp/		





【施設概要】

診療科目	内科、アレルギー科、消化器内科、呼吸器内科、神経内科、循環器内科、外科、脳神経外科、肛門科、皮膚科、整形外科、泌尿器科、婦人科、耳鼻咽喉科、眼科、歯科、放射線科、リハビリテーション科	
病床数	許可病床数 254床	急性期病棟 85床 回復期リハビリテーション病棟 87床 地域包括ケア病棟 44床 医療療養病棟 38床
承認基準	脳血管疾患等リハビリテーション料(I) 廃用症候群リハビリテーション料(I) 運動器リハビリテーション料(I) 呼吸器リハビリテーション料(I) がん患者リハビリテーション料	一般病棟入院基本料10対1 回復期リハビリテーション病棟入院料1 回復期リハビリテーション病棟体制強化加算1 地域包括ケア病棟入院料4 療養病棟入院基本料1

【リハビリテーション科紹介】

★特徴★

当院は、急性期病棟・回復期リハビリテーション病棟・地域包括ケア病棟・医療療養病棟を有するケアミックス病院です。18診療科があり、入院・外来ともに幅広い疾患に対応しています。リハビリテーション科も、脳血管・整形・内科・呼吸器・外科等幅広い疾患に対応し、急性期から維持期まで一貫したサービスを提供しています。また、回復期リハビリテーション病棟は2018年5月より2病棟79床となりました。それに伴い、セラピストを増員し、質・量ともに充実したリハビリテーションの提供を目指しています。多職種とともにチームアプローチを行い、在宅生活やQOLも視野に入れ、患者様・ご家族様とともに取り組んでいます。

質の高いリハビリテーションを提供し、患者様がよりよい生活を送れるよう取り組んでいます。

また、グループ内には病院が多数あり、リハビリテーションスタッフも多数在籍しています。情報交換を行いながら連携をとっています。また、当院のスタッフは経験のあるスタッフも多く、知識・技術の向上へも取り組んでいます。

★リハビリテーション科スタッフ★

医師(疾患別リハビリテーション登録 専任)	11名	理学療法士	46名
非常勤リハビリテーション専門医	3名	作業療法士	9名
回復期リハビリテーション専従医	2名	言語聴覚士	5名
		助手	1名

セラピスト 現在60名



★教育・指導体制★

- | | |
|-----------------------------------|-----------------|
| ①入職後Off-JT・OJTによる新人教育 | ④各病棟別勉強会 |
| ②マンツーマンによる個別指導 | ⑤リハビリテーション科内勉強会 |
| ③チーム体制による取り組み
(業務フォロー・学習取り組み等) | ⑥院外での勉強会・研修会の参加 |

★当院でのリハビリテーション★

入院から外来・通所リハビリテーションまで、継続したリハビリテーション提供を行っています。
疾患も、幅広く対応しています。

急性期病棟

- ・発症後・手術後早期からのリハビリテーション実施
- ・ベッドサイドでの離床から開始
- ・糖尿病の教育入院方への運動指導実施
- ・整形・呼吸器・脳外・内科・外科・がん等、幅広い疾患に対応



地域包括ケア病棟

- ・病棟での生活リハビリも行き在宅復帰を目指している
- ・専従のリハビリスタッフと病棟スタッフとともにADL改善に取り組んでいる

療養病棟

- ・必要性に応じ介入
- ・病棟スタッフとともに能力維持に取り組んでいる

回復期リハビリテーション病棟

- ・脳血管疾患・運動器疾患・廃用症候群の患者様に対し365日積極的にリハビリテーションを実施
- ・在宅復帰・職場復帰に向け、屋外訓練(電車やバスの公共交通機関の利用)やADL・IADL訓練も積極的に実施
- ・家屋評価を行い、在宅サービス担当者とともに住宅改修・福祉用具選定・サービス選定などにも積極的に関わっている
- ・約6割が脳血管疾患、約3割が運動器疾患の患者様



外来リハビリテーション

- ・入院から継続した退院後のリハビリテーションを実施。・主に運動器疾患は外来のみの対応も行っている。



介護保険 短時間型通所リハビリテーション

- ・病院内で通所リハビリテーションを実施。・対象者様の目標・課題に合わせ、個別でのPT・OTや自主訓練を行う。

★ロボット等リハビリテーション機器★

新規機器の導入も積極的に行い、新しい分野のリハビリテーションとともに新たな効果の期待・幅広いサービス提供を目指しています。

TOYOTA ウェルウォーク(2018年6月導入)



下肢麻痺患者のリハビリテーション支援を目的としたロボット

運動学習理論にもとづきさまざまな支援機能(フィードバック・難易度・量)を備えている。

重度患者様にも使用可能であり、初期より歩行が可能癖が少なく合理的な歩行現実が可能。補助しすぎない練習が行える。

HONDA 歩行アシスト(2017年12月導入)



『倒立振り子モデル』に基づく効率的な歩行をサポートする歩行訓練機器

屈曲による下肢の振り出しの誘導と伸展による下肢の振り出しを誘導。

効果:歩行速度向上・筋活動の増加
歩幅増加・股関節運動角増加

TEIJIN ウォークエイド(2019年5月導入)



中枢神経障害による下垂足・尖足患者様の腓骨神経を電気刺激し歩行を改善

効果:廃用性萎縮の予防・制御、局所血流の増加、筋再教育、関節可動域の維持・増加
「脳卒中治療ガイドライン2015」推奨グレードB

一緒に楽しく働きませんか？お気軽にお問い合わせください。
見学もお待ちしております。

